

都屋だよ! 18号



2025 年 2 月発行
有限会社都屋呉服店
高山市上一之町 36
☎ フリーダイヤル
0120-29-0132



きものに関すること、
どんなことでもお気軽にご相談ください。
親切、丁寧、熱心に承ります。
お電話お待ちしております。

毎度ありがとうございます。立春を過ぎてから思いがけずよく降りましたね。
おかげ様で毎朝雪かきができていい運動になりました。



先日ゆかたの発注をしました。
今から夏が来るのが楽しみです。



「高山市名字ランキング」～ふと気になって～ 2025 年 01 月 23 日のブログより

大相撲初場所は 12 日目。応援している力士が勝ち越すと嬉しくなります。

二子山部屋に生田目（なばため）という関取がいますが、珍しい名字なので全国にどのくらいいるのだろうと調べてみるとランキング 2549 番でした。北関東に案外ある名字だとわかりました。

そんなことを調べていたらふと高山市で多い名字は何だろうと気になったので調べてみました。

それが右の表です。

都竹さんとか牛丸さんという名字はこちらに多く、多分全国ランキングだとこんなに上位には来ないと思います。（あとで調べたらむしろマイナーな名字でした）

ちなみに私のスマホの電話帳に田中さんが 22 人入っていました！（笑）

高山市の順位と併せて全国順位も調べてみました。高山に多い名字でも全国的には少ないものもあります。

（都竹さん全国 5,193 位、牛丸さん全国 4,182 位）

右の表を見るとだいたい友人かご近所にこれらの名字の方がいらっしますね。

同姓同名探しと名前ランキングより

順位	名前	人数	全国順位
1	田中	401	4
2	清水	338	20
3	山下	335	27
4	谷口	258	73
5	山本	220	7
6	長瀬	215	654
7	都竹	170	5193
8	川上	169	139
9	中村	166	8
10	小林	157	9
10	中田	157	122
10	加藤	157	10
13	橋本	151	24
14	森本	147	145
15	森下	146	259
15	林	146	18
17	牛丸	140	4182
18	東	134	126
18	中島	134	28
20	新井	124	81

「喪服というのは正式名称ではない」 7月24日のブログより

実は以前も書いたことがあるのですが喪服というのは正式名称ではないのです。私どもも喪服と呼んでしまっていますが正式には黒紋付です。黒留袖の登場で、不祝儀にしか着なくなり「喪服」と呼ぶようになりました。

世の中ではほとんどの方がお葬式に着るきものと思っていられしますが、「喪服」と呼ぶからそうなので正式には「黒紋付」です。でおめでたい席にお召しになっていただけます。



最近はレストランウェディングや海外での挙式などで黒の留袖をお召しになることが少ないと思います。ですから、むしろ冠婚葬祭どちらにもいける黒紋付を一枚お作りになるのがいいと思っています。

この装いで有名なのが宝塚歌劇団の卒業式です。黒紋付のきものに深い緑の袴姿がきりっとして素敵です

これから黒紋付の装いをおススメしていきたいと思いますが知らない方から「あの人喪服を着てる」と変な目で見られないように充分お知らせしていく必要がありますね。

きものエッセンス 184

—— 毎月第1水曜日掲載 ——

◆ 衿を出す裏ワザ ◆

着物の衿(腕の長さ)が短くて、生地巾がない時には無地や黒紋付ならば下前衿から生地を取って衿を出すことができます。一本筋が入りますが、着てしまえばわかりません。そして無くなった下前衿の部分を新たに染めます。染めた生地で衿を継がないのは色が合わないからです。

呉服の粹 都屋 
きものエッセンスバックナンバー →
まちの博物館前 ☎ 0120-29-0132

きものエッセンス 185

—— 毎月第1水曜日掲載 ——

◆ 一年を振り返って ◆

「今年も親切丁寧親身にお客様と向き合い、お客様のきものを活かす仕事をしてまいります」この年初の誓いはよくできました。ですが「きものビギナーのための勉強会」が開催できませんでした。こちらは今から計画して来年は必ず開催します。来年もよろしく願います。

呉服の粹 都屋 
きものエッセンスバックナンバー →
まちの博物館前 ☎ 0120-29-0132

きものエッセンス 186

—— 毎月第1水曜日掲載 ——

◆ 年の初めに【令和7年】 ◆

謹賀新年。本年私どもは創業九十九年を迎えます。お客様のお役に立ち喜ばれる商いをするのが私どもの信条ですので、今年はそのようなイベントを開催します。きものことで分からないことがあればとにかくお問い合わせください。今年もよろしく願います。

呉服の粹 都屋 
きものエッセンスバックナンバー →
まちの博物館前 ☎ 0120-29-0132

私どものブログです。
ぜひご覧ください



今月もお読みいただきありがとうございます。

私どもは本年創業99年を迎えます。祖父が20歳で独立し、小間物屋だった伯母の店を呉服店にしました。父は高校卒業後すぐに祖父と商売を始め亡くなるまで58年間がんばってくれました。とはいえ、今店があるのは皆様方のおかげだと感謝しています。

きものに関すること何でもご相談ください。 0120-29-0132です。

発行人 ながさわ 長澤 直彦 090-1467-5907